

おまえざき



市議会だより

第33号

2012.10.11.12月

平成25年2月発行



初春

白羽神社本殿

白羽神社は、社伝によると平安時代の837年に現在の場所に鎮座しました。神社本殿（御前崎市指定有形文化財）は、間口3間・奥行2間の入母屋流造で、江戸中期の様式です。また、本殿は台輪建ての構造になっていて、これは平安時代の意匠でたいへん珍しい造りです。



議長 西島 昌和

新年あけましておめでとございませう。
皆様には、輝かしい新春をご家族お揃いにて健やかにお迎えの事と、心よりお慶び申し上げます。

日頃議会に対して、「ご理解」ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災もすでに発生から2年になるつとております。昨年を振り返りますと、政治経済ともに低迷した先の見えない一年でありましたが、年末には衆議院解散による総選挙が行われ、経済再生を急務とする安倍内閣が誕生しました。

中部電力浜岡発電所も現在津波対策工事が実施されております。当初計画されていた高さ18mの防波壁はおおむね完成しましたが、12月20日に中部電力より南海トラフ巨大地震を想定した津波に対し、防波壁を4m高上げる津波対策等が公表されました。これにより、安全性をより一層高めるための追加対策工事が本年中の完成に向けて実施されます。

また、12月25日には新たに発足した原子力規制庁から御前崎市議会に対して、安全規制の考え方や規制基準を策定する今後の方向性について説明がありました。

原子力発電所停止後の御前崎市中長期財政見通しについては、厳しい状況の中、議会としても産業振興や市民生活の向上に努めてまいりました。今後は更に、市内産業の活性化や安全なまちづくりを目指す防災対策と共に、少子高齢化社会に対応した環境の充実や教育の向上にも努めてまいります。

議会に於いては、平成23年度に「議会改革特別委員会」を設置し、議会基本条例の制定に向け取り組んでおります。また、平成24年度から、「一般会計予算決算審査特別委員会」を設置し、議員全員による討議を図りながら、議会として政策提言ができるよう議会改革も進めてまいります。

今後とも、市民の皆様のご期待に応えられるよう努めてまいります。結びに、御前崎市にとり、本年が充実した良き年となるよう祈念しご挨拶とさせていただきます。